

成器地区 地域づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 平成30年10月25日（木）19:00～20:00
- 2 場所 成器地区公民館
- 3 出席者 地区出席者 6名
市出席者 4名（深澤市長、綱田都市整備部長、安本地域振興局長、竹氏国府町総合支所長）



4 テーマ 殿ダムを活用した地域おこし

5 概要

（地元あいさつ）

成器地区の人口は、9月30日時点で、550名、218世帯となっており、年々人口が減少し、高齢化が進んでいる実態がある。この中で、地区公民館、まちづくり協議会の活動は、いきいき成器を合言葉に、敬老会、納涼祭、運動会、文化祭を4大事業として、地区を挙げて毎年実施している。また、因幡万葉おんな太鼓などのグループ活動にも熱心に取り組んでいる。他に、まちづくり協議会が主催の野外音楽祭や殿ダム因幡万葉湖ウォーキング実行委員会主催のウォーキング大会を実施している。このように、市中心部と中山間地域との交流を図る中、「あたたかいあいさつがこだまする いきいき成器の里」をキャッチフレーズに事業展開を図っていききたいと思っているので、地域づくりに協力、支援をお願いしたい。

（市長あいさつ）

成器地区懇談会は、2年ぶりの開催となる。今年から、比較的少人数の方とざっくばらん

に意見交換できるようにと、懇談会の進め方を変更している。

先ほど地元あいさつでお話しいただいたが、成器地区はグループ活動が大変盛んであり、様々な取り組みを進めておられる。全国各地で人口が減り、少子高齢化が進んでいるが、地域での様々な取り組み、つながりが増々大切になってくると思っている。色々な課題があるが、これからも皆さまと一緒に意見交換をさせていただきながら、限りなく市政に反映していきたい。

成器地区の取り組みの説明

<テーマの背景>

この半世紀、当地域は殿ダムとともに歩んできた。当初ダム建設反対が優勢であった住民の感情も、その後の紆余曲折を経て、最終的にはダムを受け入れるものへと変わっていった。そして平成23年、ついに殿ダム完成の日を迎えたのである。

その間、中山間地域の過疎化が全国的な問題となっていった。当地域も小・中学校の廃校、保育園の民営化など公共施設の整理等により次第に活気が失われていくように感じている。

そのような今日であるからこそ、殿ダムを新たな観光資源としてクローズアップし、地域の活性化につなげていきたいと考えている。

<地域の取り組み>

殿ダムを活用し、以下のような取り組みを行っている。

【地域が主体となる主なイベント】

- ・響け！殿ダム野外音楽祭（9月）
- ・殿ダム因幡万葉湖ウオーキング大会（10月）
- ・凧作り講習会、凧あげ大会（3月） 他

【殿ダム交流館（指定管理者）によるイベント等】

- ・殿ダムフェスティバル（5月）
- ・殿ダム環境学習会（7月）
- ・殿ダム雪まつり（2月）
- ・サッカー練習場の提供 他

※殿ダム交流館のイベントには、地域も資材の貸し出しといった形で協力している。

（地元）

地区公民館の建て替え、小学校の取り壊しにより、イベント用の資材保管場所がなくなる恐れがある。鳥取市有地の小学校プール跡を活用するなど、代替りの資材保管場所が確保できないか。

また、観光客から殿ダム行きのバスがないかしばしば尋ねられる。バス事業者との協議が必要かと思うが、現在、山崎橋となっているバス停を、殿ダム広場か殿ダム交流館まで延ば

すことが出来ないか。

最後に、殿ダム広場でイベントを開催することが多いが、屋根がないため雨が降ると中止になってしまう。殿ダム音楽祭は、平成28、29年度は中止となり、30年度は途中から雨が降り出した。部分的にでも、広場に屋根をつけていただき、全天候型の施設にすることができないか。

(市長)

先日、都市整備部長と中国治水の関係で国土交通省を訪問した際、殿ダムの様々な利活用について担当部局にお話しをさせていただいた。これだけ大雨が降っても下流域で浸水被害が少なく済んだのは殿ダムの効果大きい。このダム事業にご理解をいただいて大変お世話になった地域の皆さんに改めて感謝申し上げるとともに、このご協力があったからこそ下流域の浸水被害が抑えられたことを、市民の皆さんに伝えていきたい。

ご質問の1点目について、現在地区公民館の建て替えを進めているが、公民館に保管してある資材等については、地域の皆さんとお話しをさせていただきながら、収納スペースを確保していきたい。地区公民館の新築にあわせて具体的に相談させていただきたい。小学校は、当面取り壊す予定にはなっていないので、そのまま保管をしていただける。基本的には地域で所有している資機材等は引き続き地域で保管していただきたいと思っている。

2点目、殿ダム行きのバス延長については、バス事業者にお伝えしたい。昨今、利用の低下等により、全国的に路線バスの維持が困難な状況になってきている。まずは、たくさん利用していただくことが必要であり、地域の皆さんのご協力をいただきたい。平成28年度から乗り合いタクシーが新しい取り組みとして運行されているため、利用していただくことも一つの方法ではないかと思う。常時、路線として確保するのは難しいが、イベント等がある場合には臨時バスを運行することも一つの方法ではないか。

3点目について、殿ダム音楽祭が雨天のため中止になったとのことで、殿ダム広場に屋根が欲しいという気持ちはよくわかる。この時期は、台風や雨が多く、イベントが開催できないことも多い。音響的にも、芝生に座られるお客さんのことを考えても、天候が良いときに開催したほうが良いと思うので、一つのご提案として、季節的に天候が良い時、行楽シーズン等で開催されてはどうだろうか。屋根設置は規模にもよるが、多額の事業費が必要となる。必要性や財政状況も勘案しながら検討していくということにはなると思うが、現時点では難しいと考えている。

(都市整備部長)

成器地区では、路線バス中河原線の再編が行われており、中河原バス停から乗り合いタクシーが運行されている。乗り合いタクシーは区域運行であり、降車する場所も融通が利きやすいが、乗車時は決められたバス停から乗らないといけない。

路線バスは民間事業者が運行しているため、バス路線の延長を検討する際には、利用予定者数を考えた上で検討いただくことになる。どのくらいの利用が可能になるか、地域から情報提供をいただくことも必要になってくると思う。

乗り合いタクシーのバス停を殿ダム広場に新しく設ける場合も、そこで乗り降りされる利用者数を考慮し、必要性を考えていかないといけない。例えば、イベント時とそれ以外で対応をわけて考えることも、一つの検討材料になるのではないか。

また、殿ダム広場までのアクセスについては、鳥取市ホームページや殿ダム広場のホームページでももう少し丁寧に情報の発信を行う必要があると感じている。

(地元)

雨でイベントが中止になることは想定内で、天候によることであり仕方がない。しかし、グラウンドの水はけが悪いため、前日に雨が止んだとしても濡れていて芝生に座れない。ステージ前の一部分でも、水はけが良くなるように改良できないか。

また、この度の音楽祭、ウォーキングは車ででの来場者が多く、駐車場が満車になった。ウォーキングの際は、ダム広場駐車場、国土交通省の駐車場をお借りしても一杯という状況だった。これから先、より多くの参加者に来ていただくとうすると駐車場が不足する。周りに駐車場にできそうなスペースがあると思うので、地元と協議し駐車場の拡張をお願いできないか。

もう一点、成器地区公民館が来年度新築に向かうということで感謝申し上げたい。公民館前のグラウンドに新築となるが、同じく小学校校舎も残っているためスペースがなく、運動会など様々なイベントがグラウンドできなくなる。すぐには校舎の解体は難しいということだが、何年後ぐらいに解体を検討しているか地元を示して欲しい。

最後に、成器地区はまちづくり協議会が様々な事業で資材を持っている。今は、旧成器小学校に資材を置いているが、小学校校舎の解体と併せて保管場所を作っていただきたい。

(市長)

殿ダム広場の水はけについては、状況を一度確認させていただきたい。かなり広大な広場なので、改善するとなると、大がかりな事業になると思う。

駐車場については、今すぐに整備をしていくことは難しいと思う。どのあたりが駐車場のスペースにできそうか確認させていただきたい。

また、解体については、全市的にも古い建物でまだ解体できていないものもあるので、計画的に考えていかないといけない。何年後に解体できるかこの場ではお答えできないが、まずは新築、改築を優先し、解体撤去については財政状況等も勘案しながら、必要なところを計画的に順次取り組んでいきたいと考えているのでご理解いただきたい。成器小学校校舎は、耐震性に問題があるとのことで、いずれは解体撤去をしていかないと考えている。

地区公民館に保管してある資材等については、新しい公民館ができた後もどこかスペースを確保し、保管できるよう考えていく必要があると思うが、現在小学校校舎などにどのくらいの資材等があるか見当がつかないため、一度現地を確認させてもらいたい。地域が所有しているものについては、基本的に地域で保管していただきたいが、地区公民館新築に併せて、地域で所有する倉庫を設置するスペースを確保することも可能性と思う。資材等の量に

もよると思うので、現状を確認させていただきたい。

（都市環境課補足）

殿ダム記念広場における駐車区画は、普通車89台、大型車12台の駐車が可能です。イベント時には、臨時駐車場として洪水吐横（国土交通省管理）を97台、桜広場40台、現駐車場を有効利用することにより、全体で約300台程度の駐車は可能です。本年度の殿ダムウォーキング大会は671名の参加で、関係者も含め、記念広場内での駐車は概ね足りうる状況にあると考えています。

周辺の駐車場として、記念広場入口付近のカーブ部分の土地の活用については、見通しなどの安全上の問題、利用見込み、施設の必要性等を勘案の上、判断することになります。今後、来場者が現状以上に増えると予想される場合、まずは記念広場内の河川管理道の片側駐車、周辺駐車場を活用するなどの検討をお願いします。

（国府町総合支所地域振興課補足）

現在、旧成器小学校校舎内の資材の保管状況は次のとおりです。

まず、1階の教室の一つを使い殿ダム音楽祭で使用するステージ台が保管されており、それと隣接する教室には、困幡万葉ウォーキング大会で使用する案内看板等が保管されています。更に、児童玄関にイベントで使用する大鍋が一つと、隣接する小部屋には看板類が保管されています。他に、校舎横の体育館の地下には8m²程度のスペースがあり、プラカード等の運動会用の資材が保管されています。

旧成器小学校校舎を早急に取り壊す予定はないので、今までどおり資材を格納可能ですが、地域が所有するイベント用資材の保管については、地域自身で考えていただくのが基本であると考えています。

（地元）

殿ダム広場の芝生の状態については、管理されている吉田建設、またはよく利用される方等に聞いていただいたら実態がわかるのではないかと。芝生的一部分だけでも良いので、水はけを良くしていただきたい。

（都市整備部長）

先日のウォーキングに参加させていただいたが、前日に雨が降ったのか、少し湿っていると感じた。また、雨が降った後など、現地確認をさせていただきたい。

（都市環境課補足）

現地確認を行ったところ、芝生表面が全体的に不陸が起こっていることが、要因の一つと考えられます。芝生に目土を入れ不陸修正を行うことで、表面の水はけを改善させることが可能であると考えます。その対応方法については、調整を行うこととしています。

(地元)

成器小学校校舎を何年後に取り壊すか明確化して欲しいという気持ちはある。

また、成器地区公民館は来年新築され、旧建物は2年後くらいに壊してしまうと協働推進課から聞いているが、そのあたりを明確に教えていただきたい。

(市長)

新築、改築の場合は、明確に時期をお示しできるが、解体撤去の場合はお示しすることが難しい。出来る限り様々な有利な財源や事業等を使いながら、鳥取市の負担がなるべく大きくならないよう進めていきたいと思っている。解体撤去の場合は、有利な財源や事業が使いづらいということもあり、時期をお示しすることが難しいが、できる限り早くとは思っているのでご理解いただきたい。

(地元)

上地地区は、ほぼ全域が土砂災害危険区域になっている。避難所は成器地区公民館となっているが、高齢者も多く遠くまで避難することは難しいため、近くに避難できる場所が欲しいと感じている。

(市長)

鳥取市は、市民の皆さまに早めに避難していただくために、市内で10か所自主避難所を設けているが、距離が遠く、また市民全員が避難することは物理的に難しいと思う。鳥取市では、全ての災害で一定の条件を満たした施設を指定避難所としている。夜間に避難する時などは、遠くの指定避難所に避難するよりも、まずは身を守る行動をとっていただくよう呼び掛けており、地域の集会所等、近くで安全だと思われるところがあればそちらに避難していただきたい。日ごろから近隣の皆さまと災害の備えをしていただき、必ずしも鳥取市が指定する避難所まで行っていただくということではなく、近くの集会所等も一時的な避難場所として考えていただけたらと思う。

(地元)

急傾斜砂防工事はどこに申し込めば良いか。

(市長)

砂防関係は鳥取県の管轄となるが、鳥取市も都市環境課が窓口となっている。

砂防関係の予算は少なくなっており、治水関係、災害対策の予算をしっかりと確保してもらうように、先日国にお願いをしてきたところである。倉敷市の真備町等で大きな浸水被害が発生しているので、こういったことを教訓に、災害対応の予算確保に取り組んでいただけないかと思っている。地方からもしっかりと声を上げていきたい。

(地元)

成器地区は、ほとんどがイエローゾーン、レッドゾーンに指定されており、大雨時に逃げるところがない。

(市長)

イエローゾーン、レッドゾーンに指定されていても、直ちに土砂災害が発生するというわけではない。異変を感じ、土砂災害の兆候がある場合は、なるべく早く避難行動をとっていただくことが必要である。

(司会)

最後に、市長からあいさついただきたい。

(市長あいさつ)

今すぐに取り組みができないところもあり、良い回答ができなかったことは申し訳ないが、現地確認もしつつ、できるところから対応を進めていきたい。

殿ダム建設は、半世紀にわたる大事業であったが、現在は、殿ダム及び周辺の整備をし、利活用をしていくという時期に入っている。地域の皆さんと一緒に、殿ダムを地域の資源として大切にしながら大いに活用して、多くの皆さんに来て楽しんでいただけるよう、鳥取市としても努めていきたい。公民館の改築についても、地域の皆さんと相談しながら進めていきたい。